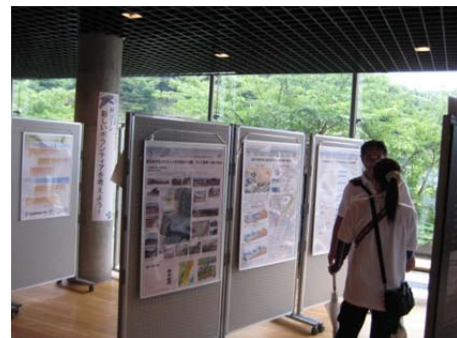


青少年のための科学の祭典石巻大会で出展しました(2011/8/20-21)

8月20日(土)~21日(日)の2日間、サン・ファン館 展望棟(宮城県慶長使節船ミュージアム、宮城県石巻市)にて「青少年のための科学の祭典石巻大会」が開催され、当センターから津波の発生メカニズムや東日本大震災に関する調査を報告するパネルを展示しました。「青少年のための科学の祭典」とは、科学が大好きな「青少年」を育むために、自然の不思議や科学実験の面白さを体験し、分かち合うことをねらいとしたイベントで、全国各地で開かれています。石巻地域では10年間にわたって開催されてきました。東日本大震災により地域が甚大な被害を受けたことにより、今年度は、その開催が危ぶまれていましたが、祭典を通して、復興に向かって立ち上がる夢と勇気を発信するために、本年も開催する運びとなりました。今大会では、「はやぶさ(猛禽類・小惑星探査衛星・JR新幹線・七ヶ浜漁船)」、「防災」、「ボランティア活動」に関連するコーナー等が開設され、当センター津波工学研究室は防災関連コーナーで「津波の基礎知識と東日本大震災と貞観津波の類似点」「東日本大震災における津波被害の記録、そして復興への取り組み」「社会現象の観点からみた東日本大震災の時系列推移」の3つのパネルを出展しました。この度の出展は、大会の主催者である石巻専修大学開放センターから、お声かけにより急遽実現しました。大会のプログラム等は、次のURLからご覧になれます http://www.isenshu-u.ac.jp/science_fes/index.html



展示したパネル



会場の様子